

関係各位殿

謹啓

早春の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平成 30 年 1 月 12 日・13 日の第 40 回日本小児遺伝学会学術集会の開催にあたり、多大なるご尽力をいただき、有難うございました。

おかげさまをもちまして、全国より 270 名を越える方にご参加いただき、盛会裏に終了することができました。これもひとえに皆様の格別なご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今回のテーマである「裾野は広く、頂は高く」の通り、幅広い遺伝性疾患を対象に、双方向性の活発な議論と相互交流を重ねていただきました。本学術集会が今後の診療・研究・教育の質を高めるための一助になればこれにすぐる慶びはありません。

学術集会の運営におきましては何かと不行届きの点が多かったことと存じますが、何卒寛容の程お願い申し上げます。

本来ならば拝眉の上、お礼を申し上げるところですが、略儀ながら本書状をもちまして、御礼の挨拶とさせていただきます。

末筆ではございますが、皆様のご健勝と今後の診療・研究・教育の発展を心よりお祈り申し上げます。

謹白

平成 30 年 2 月吉日

第 40 回日本小児遺伝学会学術集会
大会長 長谷川 奉延
慶應義塾大学医学部小児科学教室 教授